

インターンシップを終えて

熊本県立大学 1年 赤星充瑠

議員インターンシップに参加する前は「政治や社会問題のことを知らなすぎる！」と思い、ワクワク感もありましたが不安でした。しかし、岩田議員にお会いした際とても気さくにお話してくださり、活動を重ねていくうちに「こんな身近なところで、あらゆる社会問題に対する活動が行われていたのか！」と気づくことがたくさんありました。

シングルマザー支援活動に参加させていただいた際には、その活動に関わる皆さんがとても暖かく居心地の良い場所でした。子どもたちの遊ぶ声や皆さんの笑顔がいっぱいで、それを支える岩田議員らへの信頼感が強く伝わってきました。月に一度の活動なので、個人的にこれからも参加したいと思いました。

高校生平和大使平和サミットに出席した際には、若者が平和について呼びかける強い信念が感じられました。この取り組みの存在は、高校生の時に街なかで見かけたことがありその当時は、世界の平和など高校生が声を上げても意味がないと思っていました。しかし、高校生が行っている活動やお話を伺い、「微力だけど無力ではない」という言葉がとても印象に残りました。平和な世界を創り継続することを目標にしている高校生たちをこれからも応援したいと思うと同時に、私もその言葉を胸にどんなことでもコツコツと努力していこうと思いました。

また、普段行く機会のない議会傍聴にも参加しました。そこでは、日々ニュースで取り上げられる問題から、各市町村の抱える問題などが議題にされていました。県内各地の現状を把握することの大変さと、それをこなし対策を練っている県議会の方々はとても素晴らしく、尊敬の念を改めて抱きました。そのため、もっと県内のことについて興味を持っていき、知識を増やしていこうと思いました。

他にも、ゲノムについてのセミナーや四賢婦人記念館での勉強、憲法改正草案についてのディスカッションなどがあり、そこからは知識を得ることが多く心動かされるものでありました。

お忙しい中、2か月間インターンシップに私たちを受け入れてくださり、本当にありがとうございました。コロナ禍でなかなか人とふれあう機会がない中、岩田議員とともに行動することで、たくさんの方々とお話をするのができ、違う価値観などを知り、自分にとって身になるものばかりでした。移動中のプライベートなお話もとても楽しかったです。岩田議員の下でインターンシップに参加できたことを光栄に思います。

今回のインターンシップで学んだことをこれからの学校生活や将来に生かしていきます。短い間でしたが、沢山の学ぶ機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。